


令和5年度（2023年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：山鹿市立菊鹿小学校 >

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>本年度も、コロナウイルス感染症等の予防のため、手洗いを頻繁にしたり、換気をしながら冷暖房をつけたりすることが多くなることが予想された。その中で、これまでの宣言を引き継ぎ、児童の身の回りに目を向け、身近なところから始めることとした。</p> <p>児童の宣言項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 省資源に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> 水はコップやバケツに入れて使い、むだ使いしません。 アルミ缶集めを行い、リサイクルをします。 省エネルギーに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> 電気のスイッチをこまめに切ります。 環境保全に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> そうじやボランティアを一生懸命にします。 花いっぱい、緑いっぱいの学校にします。 学年に応じて、環境学習を行います。 <p>職員の宣言項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 省資源・リサイクルに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> 裏面利用や両面印刷し、紙の消費量を削減します。 ごみの分別に努めます。 省エネルギーに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> 照明のスイッチをこまめに切り、消費電力を削減します。 環境保全に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> 校地・校舎の美化に努めます。 各学年の栽培体験活動に積極的に取り組みます。 学校の環境への取組を家庭、地域に伝えます。 SDGsの視点で環境学習を行います。
行動		<p>本年度は、人権の花運動の指定を受け「栽培活動に関すること」と、SDGsの視点を取り入れた「資源保護に関すること」を重点的に取り組むこととした。</p> <p>【栽培活動に関すること】</p> <p>人権の花運動のバトンを引き継ぎ、その種子を子どもたちが協力して育てることを通して、命の大切さを感じとり、豊かで思いやりのある心を育むことを目指し、栽培活動に取り組むことにし</p>



た。秋には大切に育てた種子を採集し、人とのふれあいに繋げたいと考え、配布することにした。

そこで一人一鉢で、それぞれに責任をもち種まきから種取りまで育てることにした。朝顔（1年）、マリーゴールド（2年）、ホウセンカ（3年）、千日紅（4年）、日々草（5年）、ペチュニア（6年）と花壇にひまわり（1年）を育てた。種の小さい高学年の花は、鉢へ直まきした種の発芽が悪く、育苗箱に植えて移植した。

夏休み中の花壇（ひまわり・千日紅・日々草・マリーゴールド）は、登校班ごとに当番制で水やりを行った。「種ができていかな。」と会話しながら、花壇に水かけを行う姿も見られた。

【環境保全に関すること】環境委員会を中心に

1 アルミ缶の回収

本年度も環境委員会の児童で話し合い、毎週水曜日を「アルミ缶ウエズデー」として、アルミ缶の回収を行った。前日にアルミ缶回収を行うことの呼びかけを行い、当日は集まったアルミ缶の量を放送している。アルミ缶スタンプラリーも定期的に行っている。アルミ缶を一個でも持ってきてくれたらシールを1個貼り、3個たまったら、折り紙で折ったプレゼントを渡している。

2 節水キャンペーン

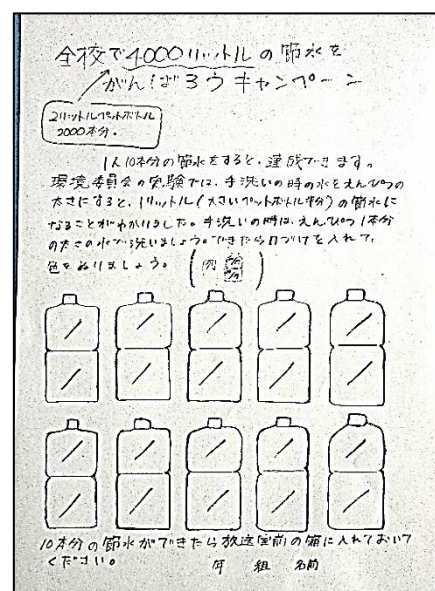
環境委員会で話し合い、「4000リットルの水を節水しよう」というキャンペーンを行った。昨年度までは、給食前の手洗いで「鉛筆の太さで水を出そう」と呼びかけ、チェックを行っていたが、時間がかかり難しかった。そこで、環境委員会で水の出し方でどれだけの節水ができるか調べると、一回の手洗いではおよそ1リットルの差になることが分かった。一人20リットルで全児童202人が取り組むと4000リットルの節水ができると考えてキャンペーンを行った。


3 あいさつで環境をよくしようキャンペーン

取り組んで3年目になる今年は、あいさつをして「あいさつの花」に色を塗っていくキャンペーンを行った。「あいさつをすると、まわりの人を明るくしたり、なかよくなったりして環境が良くなる。」と考えて、10の項目ができれば、あいさつの花に色を塗っていき、きれいな花を咲かせた。

- ① 笑顔で5人にあいさつ
 - ② 元気よく5人にあいさつ
 - ③ 立ち止まって5人にあいさつ
 - ④ 大きな声であいさつ
 - ⑤ 頭を下げてあいさつ
 - ⑥ 進んで5人にあいさつ
 - ⑦ 会釈で5人にあいさつ
 - ⑧ 5人の友達にあいさつ
 - ⑨ 地域の5人の人にあいさつ
 - ⑩ 5人の先生にあいさつ
- 10項目からその日一日のめあてを

		決めて取り組んでいった。
記 録		<p>【栽培活動に関すること】人権の花運動の発表から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は暑さが厳しくて、なかなか芽が出なかったり、途中でかれたりしてしまうこともありました。 ・花を育てることの難しさを感じました。花は種まきをしたら、すぐに芽が出るわけでもなく、すぐに花が咲くわけでもありません。 ・しばらく水やりを忘れていると、元気がなくなります。雨の日が続いているからと油断して、水やりを忘れていたこともありました。 ・夏は、朝にたくさん水をやったつもりでいても、夕方には元気がなくなっていることもありました。 ・長く世話を続けていたら、花が咲いた時とても嬉しかったです。花が2つ3つと増えていくと、水やりも楽しみになってきました。 ・花は、枯れてしまった後にたくさんの種を作ります。私たちは、花に必要なことは何か、何をしたら花が喜ぶのかなど、「人権の花」運動を通して、相手の気持ちを考えたり、思いやりの気持ちをもって接したりすることの大切さを学びました。 <p>【健康保全に関すること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アルミ缶の回収 本年度は、60kgのアルミ缶を集めることができました。 2 節水キャンペーン 水の出し方で1リットル（大きいペットボトル半分）の節水ができることが分かったと共に、子どもたちも楽しんで節水することができた。ただ、意識の差は大きく、期間内に達成することができない児童も見られた。 3 あいさつで環境を良くしようキャンペーン 毎日放送することで、あいさつが環境を良くすることを意識付けることができた。また、「あいさつの花」に色を塗ることで楽しんで取り組むことができた。達成者は放送で紹介すると共に、廊下に掲示し意識付けた。



見直し		<p>一人一鉢で「人権の花」を育てたことで、大変さを感じる出来事がいくつかあった。</p> <p>①芽が出ない→植え直し</p> <p>一人一鉢で植えた種の芽が出ないということがあった。原因として考えたのは、種が小さすぎて植えられなかったことと、水かけの勢いが強すぎたことなどだった。そのため、もう一度種を購入して2つの学年が植え直しをした。これまで種から育てたことがなかったので、世話することの大変さを感じた出来事だった。</p> <p>②草の勢いが強い→マルチをして育てる</p> <p>今年の1学期は、暑い日が続いた後に雨の日が続く天候だったために、花壇の手入れができず草が伸びてしまい手入れが大変な状況になった。そのため、マルチをして花苗を植えることにした。</p>
-----	---	---

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○人権の花運動に取り組む中で、子ども達は花を育てることの大変さと楽しさを感じることができた。一人一鉢で種を取るところまで育てる経験はほとんどなかったので、命を考える貴重な経験になった。</p> <p>○花壇に花を植えた時期に雨が続き、芽が出た花や移植した花が枯れたり、夏の気温が高く雨が降らない日が続いて野菜の収穫ができなかったり、冬の花を移植する時期が遅くなったり、夏の花が12月まで咲いていたりしたが、その経験から気象状況に関心をもったり、自然環境との関連を考えたりすることができた。</p> <p>○環境委員会の節水キャンペーンを行ったことで、水の出し方の違いでどれだけの節水ができるかを見える形で、楽しみながら感じるすることができた。</p> <p>○本年度も60kgのアルミ缶の回収ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気象状況の変化が大きく、栽培活動を今後どう行っていくかが大きな課題である。 ・児童数の減少や教育課程の見直しなどで、草取りや清掃活動に充てる時間が減少していく中、活動の見直しが必要になってくる。 ・いろいろな感染症や熱中症の対策のために、換気をしながら冷暖房をつけたり、頻繁に手洗いをしたりする必要がある、節電や節水の難しさを感じる。